

「私を支えた 12 人の仲間」 利尻町立利尻中学校 3 年 飯田 冴

私はとても充実した日々を過ごせていると思う。今の生活が今までのどの瞬間よりも楽しいからだ。このような生活ができてるのは私と関わって支えてくれているたくさんの人のおかげである。でも、私が楽しく充実した日々を送れる一番の理由は、信頼できる 3 年 A 組の仲間達にあると思っている。そのことを改めて実感した出来事があった。

学校祭中で、私はソーランリーダーを務めていたのだが初めてのことで戸惑い、一二年生にうまく教えることができなかった。しかし、3 年 A 組のみんなは私に、「この部分の振付の後はこう教えるといいよ。」とアドバイスをくれたり、私が見ることができない一二年生の細かいところの指導までしてくれたり、私が一二年生にうまく教えられるようになるための練習にも付き合ってくれたりした。こうしたやり取りを重ねていくうちにだんだんとうまく進められるようになり自信もついてきた。今年のソーランが私の中学校生活の三年間の中で一番良いものになったのは仲間のおかげであると思う。この経験を通して、仲間がいることの大切さを今までよりももっと感じるようになった。そして、自分が楽しく充実した日々を送れる理由は信頼できる 3 年 A 組の仲間の存在にあると改めて実感することができた。

私たち 3 年 A 組はたった 13 人しかいない。だが、保育所、小学校の時から一緒に生活をしているので男女関係なく仲が良く、お互いのことをよく理解している。得意なことや苦手なことはもちろん、お互いの誕生日や好きな音楽やゲーム、食べ物までもわかる。「今日の給食〇〇の好きなやつだよ～」や、「〇〇が好きなこのグループの新曲めっちゃ良くない？」とかそういう掛け合いがあるのはいつものことだ。また、私たちの良いところは誰かの苦手なことを得意なことでカバーし合えるところだと思う。私の学校祭期間の時もそうであったが、私たち 3 年 A 組では、「何かできないことがあっても責めるのではなく、仲間内でお互いにフォローし合いながら、お互いに成長していく。」このような光景がよく見られる。だから私は自分一人でできないことがあっても、仲間と一緒になら絶対にできると思っている。そして、私はいつも仲間に支えてもらってばかりなので、今度は仲間の大切さを胸に、自分の得意なことで仲間を支え、そうすることで日頃の感謝を伝えていきたいと思う。

中学校を卒業したら仲間とは離れてしまうが、大人になったときもみんなが集まって、今のような関係性でまたいろいろな話をしたい。これからはいままでよりもっと大変なことがあるだろう。そんなことがあっても私たち 3 年 A 組のみんなならきっと大丈夫だと思っている。

卒業までの五か月、3 年 A 組らしく全力で突っ走っていきたい。